



# 第二中だより

No. 583

開校 55 周年

生徒数 490 名

令和 3 年 10 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



## 「シフトチェンジ」

校長 橋本 真

「新しい生活様式」が当然のこととして日々の学校生活に浸透してきたのを感じています。10月1日から緊急事態宣言が解除されます。しかし、本校では、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いつつ、引き続き日々の健康観察、マスク着用、三密を避ける工夫、換気や消毒作業などを継続し、感染予防の対策の水準をこれまで通り維持させていきます。各ご家庭のご理解・協力をよろしくお願いいたします。

### 9月26日新横綱照ノ富士の強さ、に魅せられて

大相撲秋場所は、両国国技館で千秋楽を迎え、新横綱照の富士が、2場所ぶり5度目の優勝を果たしました。照ノ富士の強さが際立つ15日間でした。千秋楽の取組前に妙義龍が敗れて優勝が決まっても、土俵下の控えで、微動だにせず、自身の一番に集中を高めていた映像がとても印象的で、横綱の威厳を感じました。横綱昇進、そして優勝に至るまでの道のりは、苦難の連続だったそうです。その横綱の「強さ」を各紙の記事から迫ってみました。今場所の戦いを終えて「これから、一泡吹かせようと、ぶつかってくるどんな相手にも、勝ち続けなければならない。それが綱を張る者に課せられた使命。計り知れない重圧を連日受けても、その日の一番に全力をかけて土俵に上がるだけ」と言い切る強さがありました。白鳳のいない場所で最高位の責任を果たして「自分一人だけでは、こんなに活躍はできなかった。皆様のおかげでこういう所に立っていただける」と感謝の言葉がありました。秋場所前には、母校の相撲部のコーチを訪ね、肘の腫れ、膝の痛みを漏らしつつ、秋場所優勝の決意を表明したそうです。その言葉通り、初日から8連勝。その陰には、高校相撲部のコーチの励まし、親方の支え、妻の優しさがあつたと振り返っていました。人は他人の助けを借りて成長し、考えること

によって自らの弱さを克服できます。私たちの人生においても、他人の助けをどのように借りるか、自分の弱さをどのように克服するかがポイントになりそうです。

### 9月28日 開校記念日に寄せて

昭和42年7月、大和中学校内に設置されていた大和町立第二中学校が現在地に移転し、同年9月28日に竣工式・開校式が挙行され、この日を記念日として制定しました。

当時、校庭の整地工事には自衛隊朝霞駐屯地の皆さんのお力添えがありました。今年で55年を迎えます。これまでの歴史を感じ、伝統を引き継ぎ私たちの手で、「和光市立第二中学校」を築き上げていきたいと思えます。

### 10月1日日本年度後半のスタートにあたり

この世の中には、自分ではどうしても変えられないものと、自分の意志で変えられるものがあります。過去のこと、他人や他人の感情などは変えられませんが、自分の感情、意識、考え、行動は変えられます。そう簡単ではないが、変えられます。変えないとそのままの成長のない自分で終わってしまいます。自分の考え、姿勢、態度、行動力をシフトチェンジさせるための考え方のヒントを紹介します。

- 「選択と集中」、自分にコントロールできない事は、考えない、自分にできる事だけに集中する。
- 「やらなくては」ではなく、「やると決める」「どれも大事ではなく」、  
「大事なものは、めったにない」と考える。

様々な観点から自分を見つめ、自分を変革する令和3年度の後半に臨んでください。